

山口県公立大学法人評価委員会（第40回）の審議要旨

- 1 日 時 令和3年8月5日（木） 10:00～11:20
- 2 場 所 山口県立大学北キャンパス3号館3階 C301教室
- 3 出席委員 成富委員長、小野委員、首藤委員、早川委員（委員長以外50音順）
- 4 審議事項 ①令和2年度に係る法人の業務の実績に関する評価について
②公立大学法人山口県立大学の業務の実績に関する評価の実施要領の一部改正について

5 審議要旨 [● 委員 ◆ 委員長 □ 法人 △事務局]

(1) 審議事項①

- 大学が地元企業と交流し、絆を深めていくことはとても大事なことだと思う。今後の進め方などについての考え方を教えてほしい。
- 教育活動や研究を通じて企業との繋がりをいかに構築するかが大切となる。これまでも受託研究などで企業等と連携した活動を展開しているが、今後はコンソーシアムを形成し、テーマ別に企業と大学研究者が意見交換をし、その中から新たな受託研究につなげるという仕組みを強化していきたい。
- 課題解決型の教育プログラムも継続して展開しており、教育活動と企業の双方にとってウィンウィンとなる関係の構築を目指すとともに、成功体験を通じて地域への愛着が生まれるような地域貢献型の教育を実施することが大事だと考える。
- コロナ禍で様々な制約があると思うが、企業と県立大学が1対1で交流するだけでなく、複数の企業と合同で交流するなど、より効果的な方法も検討し、企業との連携を深めてほしい。
- 山口県は他県に比べて商工や農業といった専門高校が多く、課題解決型学習に一生懸命取り組み、新たな視点や能力を有した生徒も多い。そういった生徒が進学した際の受入れ先になれば、県内就職にもつながるものと考えます。
- 学校推薦型選抜では、普通高校と専門高校に差はなく、公平に受験いただけるようになっている。小さなプロジェクトでもいいので、学生や高校生と成果を積み重ね、スタートアップなど若者に魅力的な産業をつくることができれば、県内就職にもつなげることができる。
- ◆ 地域の魅力をいかに引き出し、育てていくかが大学に求められている。そのためには、STEAM教育やSociety5.0、DXなどをベースに、多様なアイデアを出すことができる人材の育成が求められていると思うが、県立大学としてのキーワードを教えてください。
- 人間性の尊重、生活者の視点、地域社会との共生及び国際化への対応という4つの教育理念を統合したライフ・イノベーション・リーダーという人材像を定めている。命や生活、それから人生、地域の価値を見い出すといったイノベティブな資質を持った学生を育てたいと取り組んでいる。

- 大学の空き教室などを地域の方や企業研修等に利用してもらえれば、大学の学修環境の良さが伝わり、入学希望者が増えるのではないかと。
- 各種試験会場や教育・文科系団体のフォーラム等に活用いただいているが、施設開放だけでなく、ウェブ環境を通じて新たな教育等のサービスを展開するなど、大学の機能を増やしていくことにも積極的に取り組んでまいりたい。
- ◆ 時代のキーワードは様々あるが、上手に種をまき、伸びしろを増やしていくことにより、県立大学には地域の活性化をリードしていただきたい。

【 まとめ 】

- ◆ 評価書の原案については、素案のとおりとする。
- △ 今後、委員長と事務局とで評価書原案を調整し、法人への意見照会を経て評価書を確定させていただく。
評価の結果については、9月議会に報告させていただく。

(2) 審議事項②

案のとおり了承

以 上